

【国高 14 回生傘寿の会】報告

♪春がまた来るたびに ひとつ年を重ね
目に映る景色も 少しずつ変わるよ♪

令和 6 年 4 月 3 日、傘寿(80 歳)の会を祝うかの様にニューオータニの桜も八分咲きで迎えてくれた。

再会にときめく心を抑えながら宮城、愛媛、長崎という遠方からの同期生含めて 35 名が赤坂見附のニューオータニ「ガンシップ」に参集。参加者は受付でトランプカードを引き、トランプマークの付いた 5 つのテーブルに分かれ着席。



11 時半、第一部として、講師に世界的脳神経内科の権威「内山真一郎先生」をお招きし、これからの私たちに最も必要な「認知症と脳卒中は同時に予防できる」の貴重な卓話。

会に入った。

第三部のエンタメは土屋幹事の落語から始まり、福原氏のバイオリン「エルマーの愛の挨拶」が続き、最後は米村幹事を中心にした 3 名のコンボバンドが「少年時代」・「スタンド・バイ・ミー」・「見上げてごらん夜の星を」・「上を向いて歩こう」をジャズバージョンで歌い、女性たちが「ふるさと」「校歌」を歌った。

そして松戸幹事が手作りしたブーケを遠方からご参加頂いた三名の女性（河本・相良・松浦）から恩師の三宅先生と奥様に



感謝の気持ちを添えて渡された。

既に鬼籍に入られた同期の方々に黙祷し、いくつもの「人生の扉」をくぐって
傘寿を迎えた 14 回同期生たちは…

♪信じられない速さで 時は過ぎ去ると 知ってしまったら
どんな小さなことも 覚えていたいと♪

…【桜だって、満開まではまだ2分ある・・・】との意気軒高な再開を誓ってお
開きとなった。 (文責 3組 N.Y)